リロード設定手順(Qlik Sense SaaS)

外部コマンドで Qlik Sense SaaS 上のアプリをリロードする手順を紹介します。

<前提条件>

- ▶ 動作検証は下記環境で行いました。
 - ・Qlik Sense Business の試用版サブスクリプション
 - ・Windows 10 (ローカル PC)
 - Google Chrome
- ▶ 事前準備
 - ・API キーが作成済
 - ・Qlik Sense SaaS 用の qlik-cli がローカル PC にセットアップ済

<リロード作成手順>

1. リロード設定対象のアプリを HUB 画面より開き、[アプリ ID]を確認します。 URL の[app/]以下の文字列が[アプリ ID]になります。

← → C ap.qlikcloud.com/sense/app/t5a0acdf-2f92-4c5b-add6-213bc3500a02/overview	
← ハブの表示 三 ▼	^{進備} データモデル ビコ
sample データの最終ロード日時: 2020年8月16日 14:14	
ロシート ロブックマーク ロストーリー	
▼ 公開シート (θ)	

2. PowerShell を管理者モードで開き、下記コマンドを実行します。 戻り値の[status]が[CREATED]となっていれば、リロード処理は開始済です。

「qlik reload create -appId <1.で取得した[アプリ ID]値>」



3. リロードの実行ステータスは下記のコマンドで確認します。

戻り値の[status]が[SUCCEEDED]となっていれば、リロードは正常に終了 しています。

「qlik reload get < 2.の[ID]値>」



HUB上でもリロードが正常終了していることを確認します。
 該当アプリ右下の[…]-[詳細]-[履歴のロード]の順番でクリックします。
 ロード履歴の[ステータス]が[成功]となっていれば、リロードは正常終了しています。

期間	ログ
5.392s	
1:52 5.383s	E.
:14 5.099s	ß
14 5.387s	ß
2:00 5.42s	ß
:07 5.351s	ľ
.:03 5.374s	Ŀ
	期間 12 5.3925 52 5.3835 14 5.0995 14 5.3875 00 5.425 07 5.3515 03 5.3745

以上で設定は完了です。